

## 経営情報学分野の国際学会 AIS が紹介する論文誌

佐藤 修 (さとう おさむ)  
東京経済大学

### 1. はじめに

経営情報学会は、AIS (Association for Information Systems) の affiliate (関連団体) である。AIS は全世界に 4,500 人以上の会員を擁する、世界最大の情報システム研究者団体 (学会) である。AIS の affiliate には他に、フランス語圏の AIM (Association Information & Management)、ドイツ語圏の GI (Gesellschaft für Informatik E.V.)、そして IEEE Computer Society が登録されている。以下では、AIS のウェブサイトでアクセスできる、AIS 関連学術誌について紹介する。

### 2. 国際学術雑誌

AIS の基幹学術誌は JAIS (Journal of Association for Information Systems) である。JAIS は情報システム分野における高品質の学術論文を発表する電子ジャーナル (ウェブ雑誌) である。目次・要旨はウェブサイトでも読めるが、本文はパスワードで保護されており、会員および論文購読者 (年間個人契約 US\$40 または 1 論文当たり US\$9.95) のみがダウンロードできる。JAIS は 2000 年に発刊された月刊誌である。月刊論文誌であるため、1 号当たりの掲載論文数は 2 本から 6 本程度と少ない。しかし論文 1 本当たりの紙幅はおよそ 30 ~ 40 頁と長いので、1 号だけでも読み応えはある。歴史の短い IS 分野の中でもさらに歴史の浅い学術誌である。しかし世界最大の IS 国際学会である AIS の基幹学術誌として、歴史のある先行学術誌に比肩する高い評価を得ている。JAIS には AIS 会員を中心に毎日平均して 600 アクセス、月刊で平均 18,000 アクセスがある。アクセス数は 2005 年以来、年率 20% で増加しつつある。

AIS は普及誌として CAIS (Communications of the Association for Information Systems) も刊行している。本誌は 1999 年から毎年 1 回刊行されてい

る電子ジャーナルである。これは会員間のコミュニケーションを目的にするもので、研究成果に限らず、最新技術やその応用の紹介、事例、教育テーマ等、会員の広汎な関心事項に関連する文章を掲載している。これも目次・要旨はウェブサイトでも読めるが、本文はパスワードで保護されており、会員及び論文購読者 (年間個人契約 US\$40 または 1 記事当たり US\$9.95) のみがダウンロードできる。投稿は 2 名以上の査読者によるブラインドレビュー、または編集者によるレビューのいずれかをパスして掲載される。

AIS は上記 2 誌を補うために、限定された領域の論文誌として、JITTA (Journal of Information Technology Theory and Application)、THCI (AIS Transactions on Human-Computer Interaction) を電子ジャーナルとして刊行している。このうち JITTA は、情報技術の関連テーマについて、より広汎な最新の研究を、迅速に紹介することを目的にしている。JITTA は 1999 年以来、季刊で刊行されている。THCI はマンマシンインターフェイス研究に注目した学術誌で、2009 年以来季刊で刊行されている。

### 3. 地域学術雑誌

AIS は世界を米国大陸 (region 1)、欧州・アフリカ・中東 (region 2)、アジア太平洋 (region 3) という三つの地域 (region) に分割している。AIS の年次国際大会である ICIS (International Conference on Information Systems) は、この 3 地域で順番に、持回りで開催される。それぞれの地域には支部があり、JPAIS (Japan AIS) が日本支部として登録されている。JPAIS は、経営情報学会と相互協力関係にあり、JPAIS 会員の多くが経営情報学会会員でもある。

AIS のウェブサイトには、地域 (region) や支部 (chapter) が発行する、地域 (言語) 別の国際学術雑誌へのリンクもある。経営情報学会が所属するアジア太平洋地域では、2009 年から、PAJAIS

(Pacific Asia Journal of the Association for Information Systems) が発行されている。PAJAIS は、電子ジャーナルと紙の雑誌の両方の形式で、季刊（各年4号）で発行されている英文（American style）の学術誌である。これは研究論文だけでなく、研究ノート、解説（commentary）、概念論文、そしてアジア太平洋地域における事例研究等を掲載している。PAJAIS は、Public Knowledge Project が管理する Open Journal Systems (OJS) に属する電子ジャーナルでもあり、無料で閲覧できる [1]。

RELCASI (Revista Latinoamericana Y Del Caribe De La Asociacion De Sistemas De Informacion) は、ラテンアメリカ支部 (Latin American and Caribbean Association for Information Systems) の学術誌である。スペイン語、ポルトガル語の論文を 2008 年から電子ジャーナルとして発表している。

SJIS (Scandinavian Journal of Information Systems) は北欧支部 IRIS (Information Systems Research in Scandinavia) Association の英文学術誌である。1989 年から年間 1 冊または 2 冊を電子ジャーナルとして刊行している。ただし投稿者の居住地を北欧に限定しているわけではなく、その他地域からの投稿も、審査を経て採録している。

JITTA と THCI を含む以上の電子ジャーナルは、bepress (The Berkeley Electronic Press) が運営する、AIS の投稿管理システムおよび電子ライブラリー (eLibrary または AISeL) で管理されている。AIS の eLibrary から PDF ファイルとしてダウンロードできる。以上のすべてにおいて、目次・要旨はウェブサイトで誰でも読める。PAJAIS を除き、本文はパスワードで保護されており、会員および論文購買者（年間個人契約 US\$40 または 1 論文当たり US\$9.95）のみがダウンロードできる。

以上の全学術誌で投稿者の制限はなく、誰でも無料で投稿でき、掲載決定時・掲載後も無料である。投稿論文の書式（執筆要領）は JAIS 形式に統一されている。MS Word で投稿すると bepress の投稿管理システムが自動的に PDF 形式に変換し、投稿管理が行われる。

#### 4. その他の主要学術誌

eLibrary では以上のほかに、いくつかの主要な IS

学術誌に対して、AIS 会員のアクセスが可能になっている。具体的には、AIS 会員はログインして、以下の論文をダウンロードできる。

- 米国ミネソタ大学カールソン経営学部の MIS 研究センターが発行する電子ジャーナルである、MIS Quarterly (MISQ) および MIS Quarterly Executive
- The European Journal for the Information Professional の電子ジャーナルである CEPIS UPGRADE
- Advanced Institute of Convergence IT (AICIT) の電子ジャーナルである Advances in Information Sciences and Service Sciences (AISS)
- WIRTSCHAFTSINFORMATIK が発行する電子ジャーナルである Business & Information Systems Engineering

これらのうち MISQ は情報システム分野で最も歴史が古く、かつ最も権威ある学術誌で、Peffer & Ya (2003) のランキングでは第 1 位である [2]。

#### 5. 情報システム学術誌の比較

情報システム分野にも、多数の国際的学術誌がある。例えば AIS は 125 誌を情報システム分野の学術誌としてリストしている [3]。AIS の Senior Scholars Forum (SSC) は、これらのうち最も重要な 6 誌を “basket of top journals” として発表している [4]。それらは MISQ、European Journal of Information Systems (EJIS)、Information Systems Journal (ISJ)、Information Systems Research (ISR)、JAIS そして Journal of Management Information Systems (JMIS) であり、JAIS はその一つに含まれている。

情報システム研究のアイデンティティや学術的貢献を評価する目的で、今まで、主要な国際的学術誌の相対的評価（ランキング）を含めて、多数の参照分析論文が発行されている [5]～[7]。上記で紹介した AIS 発行の JAIS や CAIS などは、発刊されてからの期間が短い。それにもかかわらず、これらは A ランクの学術誌として高く評価されている。例えば Lowry et al. (2004) のアンケート調査によると、JAIS は 12 位、CAIS は 22 位にランクされている [7]。Peffer & Ya (2003) では JAIS は 9 位、CAIS は 5 位、そして JITTA は 26 位にランクされてい

る [2]。実際、過去3年間の JAIS の投稿採択率は 12% 以下であり、2006 年に 200 本近かった投稿数は、年率 30～40% で急速に増加している [8]。

## 6. 終わりに

学問分野としての情報システムは以前、日本では経営情報または経営情報システムと呼ばれていた。英語でも現在は Information Systems と呼ばれているが、以前は Management Information Systems と呼ばれていた。それは経営科学 (management science)・組織科学 (organization science)・計算機科学 (computer science) の学際領域として発祥 [9] し、経営学の一分野として位置づけられていた [10]。しかし情報システムの影響が拡大したため、今日では情報システム学を経営学の一分野と限定的に考えない方向に進みつつある [11]。

経営情報学会も経営情報を中心に、学際的な研究分野の学会として拡大してきた。しかし会員の関心分野が広汎にわたることと、言語の壁その他の影響で、AIS や海外の情報システム研究との知識・情報の交流は少ない [12]。このため経営情報学会が関連する AIS の刊行物についての知識も、会員の間で十分に共有されていないと思われる。

今後、経営情報学会のさらなる国際化が期待される。経営情報学会の国際的なプレゼンスを高めるためにも、本学会会員から、本稿で紹介した AIS の学術誌への多数の投稿を期待したい。

## 謝辞

本稿の推敲にあたり、平野雅章会長と国際化タスクフォース委員会にアドバイスをいただきました。記して感謝します。

## 参考文献

- [ 1 ] PKP, "Open Journal Systems," *Public Knowledge Project*, <http://pkp.sfu.ca/> (July 10, 2011).
- [ 2 ] Peffers, K. and Ya, T., "Identifying and Evaluating the Universe of Outlets for Information Systems Research: Ranking the Journals," *The Journal of Information Technology Theory and Application*, Vol. 5, No. 1, 2003, pp. 63–84.
- [ 3 ] AIS, "MIS Journal Rankings," *Association for*

*Information Systems*, <http://ais.affiniscap.com/displaycommon.cfm?an=1&subarticlenbr=432> (July 10, 2011).

- [ 4 ] Liu, F. and Myers, M. D., "An Analysis of the AIS Basket of Top Journals," *Journal of Systems and Information Technology*, Vol. 13, No. 1, 2011, pp. 5–24.
- [ 5 ] Polites, G. L. and Watson, R. T., "Using Social Network Analysis to Analyze Relationships among IS Journals," *Journal of the Association for Information Systems*, Vol. 10, No. 8, 2009, pp. 595–636.
- [ 6 ] Grover, V., Ayyagari, R., Gokhale, R., Lim, J. and Coffey, J., "A Citation Analysis of the Evolution and State of Information Systems within a Constellation of Reference Disciplines," *Journal of the Association for Information Systems*, Vol. 7, No. 5, 2006, pp. 270–325.
- [ 7 ] Lowry, P. B., Romans, D. and Curtis, A., "Global Journal Prestige and Supporting Disciplines: A Scientometric Study of Information Systems Journals," *Journal of the Association for Information Systems*, Vol. 5, No. 2, 2004, pp. 29–77.
- [ 8 ] AIS, "JAIS: Distribution, Ranking and Reviewing Information," *Association for Information Systems*, <http://aisel.aisnet.org/jais/distribution.html> (July 10, 2011).
- [ 9 ] Culnan, M. J. and Swanson, E. B., "Research in Management Information Systems, 1980–1984: Points of Work and Reference," *MIS Quarterly*, Vol. 10, No. 3, 1986, pp. 289–302.
- [ 10 ] Dalton, D. R., "Business School Rankings — A Peek Under the Tent?" in K. S. Dhir (eds.), *The Dean's Perspective*, The Decision Sciences Institute, Atlanta, Georgia, 2008. (佐藤 修訳『大学学部長の役割』、中央経済社、2011年。)
- [ 11 ] Topi, H., Valacich, J. S., Wright, R. T., Kaiser, K. M., J. F. Nunamaker, J., Sipior, J. C. and Vreede, G. J. D., *Curriculum Guidelines for Undergraduate Degree Programs in Information Systems*, Association for Computing Machinery and Association for Information Systems, 2010, <http://www.acm.org/education/curricula/IS%202010%20ACM%20final.pdf> (July 10, 2010).
- [ 12 ] Sato, O., Kosaka, T. and Turner, P., "Information Systems Research and Academic Societies in Japan: an Overview," *Pacific Asia Journal of the Association for Information Systems*, Vol. 1, No. 2, 2009, pp. 53–71.